

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信越9市町村広域観光連携事業
事業主体 (連絡先)	信越9市町村広域観光連携会議 会長 足立正則 飯山市広域観光推進室
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	26,596,451円 (うち支援金:10,000,000円)

事業内容

- エリアの魅力を活かした滞在プログラム・コンテンツの企画、造成、PRを行った。
- 長野県の進める北陸新幹線延伸と長野県最後の新幹線駅開業に向けた広域観光対策事業と連携した開業イベントやプロモーションを実施した
 - 首都圏、北陸圏において開催されたイベント等に出展し、新幹線飯山駅開業及び信越自然郷のPRを行った。
 - 雑誌、新聞等の媒体を活用し、新幹線飯山駅開業及び信越自然郷のPRを行った。
- 地元住民との協働活動を進めるための研修会や銀座NAGANOを活用した食、土産品等の情報発信を実施した。



【おさんぽバスで秋めぐり】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 9市町村の観光、商工、農業等の団体から推薦された委員が構成する部会において事業を展開し、信越自然郷うまいもの市や銀座NAGANOにおける食や文化などの情報発信を信越自然郷エリア内の住民により実施したことでエリア内外での発信・PRをすることができた。
- 長野県が「しあわせ信州創造プラン」により進める「山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくり」やNAGANO モビリティ (仮称) を長野県と連携し、事業を展開することができた。
- イベントでのPR、雑誌等への広告掲載により、北陸新幹線飯山駅の認知度が向上した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 信越自然郷の3つの価値「食」「アウトドア」「リラクゼーション」の発信と提供する環境づくりを実施し、「保養・獲得型」で楽しめる旅行プランの充実を図る。

【目標・ねらい】

- 信越自然郷の発信・PR
- 北陸新幹線飯山駅の認知度向上

※自己評価【A】

【理由】

北陸新幹線飯山駅が信越自然郷エリアの玄関であることが周知できたことにより、特に冬期の飯山駅利用が増えた。
おさんぽバスが定着し、利用者が増えた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある